

# 福島第一原子力発電所 溶接型タンクに貯留している ストロンチウム処理水の処理完了について

< 参 考 資 料 >  
2020年8月11日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- フランジ型タンクに貯留しているストロンチウム処理水（以下、「Sr処理水」）および多核種除去設備等処理水（以下、「ALPS処理水」）については、より信頼性の高い溶接型タンクへの移送が完了し、中長期ロードマップにおけるマイルストーン「2018年度内に浄化設備等により浄化処理した水の貯水を全て溶接型タンクで実施」を達成しています。

< [2019年3月27日お知らせ済み](#) >

- 溶接型タンクに貯留しているSr処理水のうち、日々の水処理に必要な「運用タンク」以外の水（「貯留タンク」の水）については、漏えい時のリスクを考慮し、2019年12月より、多核種除去設備による処理を優先的に進め、2020年8月8日に処理が完了<sup>1</sup>しました。

<sup>1</sup> ポンプインターロック水位以下の残水 約6,500m<sup>3</sup>を除く

- 引き続き、安全を最優先に、汚染水対策を進めてまいります。

## < 処理水タンク一覧 >

対象		容量	ステータス
溶接型タンク	Sr処理水 運用タンク	約2.5万m <sup>3</sup>	運用中
	貯留タンク <sup>2</sup>	約9.7万m <sup>3</sup>	<b>2020年8月8日 水抜き・処理完了</b>
ALPS処理水		約119.8万m <sup>3</sup> (2020.7.23時点 <sup>3</sup> )	貯留中

- <sup>2</sup> ALPS処理水タンクとして再利用予定（一部は再利用中）
- <sup>3</sup> 再利用タンクは除く